

土木学会第62回通常総会報告

社団法人 土木学会

土木学会第62回通常総会は、昭和51年5月26日(水)14時30分から、東京市ケ谷の私学会館講堂において出席者4564名(うち委任状4456名)を得て総会が成立(会員総数27117名・定足数1356名)した。

尾之内会長が議長となり、議案1. 昭和50年度事業報告、議案2. 昭和50年度決算報告、議案3. 土木学会定款の一部変更、議案4. 名誉会員の推挙につき、担当理事、議長よりそれぞれ説明があり、原案どおり可決、評議員会の決議事項が報告された。引き続き名誉会員の推挙状の贈呈、土木学会賞および吉田研究奨励金の授与、就任役員の紹介が行われ、最上新会長が代表して挨拶を行い16時20分閉会、増岡康治氏(建設省河川局長)による「水に関する総合政策」(別掲)と題する特別講演および懇親会が行われ盛会裏に終了した。

●議案1. 昭和50年度事業報告

(昭和50年4月1日～昭和51年3月31日)

I 理事・監事の選挙

(昭和50年4月25日)

内容省略

II 役員の登記

理事の変更登記 昭和50年11月7日完了

III 通常総会および役員会

内容省略

IV 各種委員会

1. 表彰委員会

委員長 尾之内由紀夫君、副委員長 高橋國一郎君、功績賞主査 渡辺新三君、技術賞主査 南部繁春君、ほか委員および幹事:28名

1) 委員会3回、主査幹事会2回、2) 功績賞、技術賞の選考。

2. 論文賞選考委員会

委員長 久保慶三郎君、副委員長 佐武正雄君、第1部門主査 堀井健一郎君、第2部門主

査 足立昭平君、第3部門主査 中瀬明男君、第4部門主査 松本嘉司君、第5部門主査 岡田清君、ほか委員および幹事:28名

1) 委員会3回、主査幹事会2回、2) 論文賞および論文奨励賞の選考。

3. 吉田賞選考委員会

委員長 水野高明君、副委員長 國分正胤君、ほか委員および幹事:21名

1) 委員会3回、幹事会1回、小委員会1回、2) 吉田賞および吉田研究奨励金被授与者の選考。

4. 田中賞選考委員会

委員長 河野通之君、副委員長 西村 昭君、ほか委員および幹事:23名

1) 委員会3回、幹事会1回、2) 田中賞(論文・作品両部門)の選考。

5. 土木学会創立60周年記念事業委員会

委員長 滝山 養君、ほか委員および幹事:36名

5.1 総務部会

部会長 尾之内由紀夫君、ほか委員および幹事:12名

5.2 出版部会

部会長 八十島義之助君、ほか委員および幹事:9名

5.3 行事事部会

部会長 長浜正雄君、ほか委員および幹事:8名

5.4 土木学会功績賞受賞者声の記録編集小委員会

委員長 森 茂君、ほか委員および幹事:4名

5.5 日本の土木地理編集委員会

委員長 小川博三君、ほか委員および幹事:6名

1) 「日本の土木地理」を編集。

5.6 日本の土木技術編集委員会

委員長 沼田政矩君、ほか委員および幹事:7名

1) 出版記念会1回、2) 「日本の土木技術」を編集。

5.7 土木工学ハンドブック小委員会

委員長 千秋信一君、ほか委員および幹事:11名

1) 小委員会2回、2) 土木工学ハンドブックの刊行後のアフターケアを実施。

6. 定款調査特別委員会

委員長 水越達雄君、副委員長 八十島義之助君、ほか委員:11名

1) 委員会1回、2) 土木学会定款・規

則の検討。

7. 企画委員会

委員長 堀 武男君、ほか委員および幹事:29名

8. 行事企画委員会

委員長 千秋信一君、副委員長 長滝重義君、ほか委員および幹事:26名

1) 委員会5回、幹事会6回、打合せ5回、2) 「土木技術者のための数値解析法」講習会(50.5.26～30 東京都)を開催、3) 昭和50年度夏期講習会(50.8.28～29 東京都)の開催に協力、4) 昭和50年度全国大会(50.10.16～19 名古屋市)の開催に協力、5) 第2回土木技術者のための海外研修旅行(50.5.26～6.8 アメリカ西海岸)を実施、6) 第3回土木技術者のための海外研修旅行(50.10.5～17 ソビエト連邦)を実施、7) 第4回土木技術者のための海外研修旅行(51.3.14～20 東南アジア諸国)を実施、8) 関係団体との共催等に協力。

9. 土木学会誌編集委員会

委員長 高橋 裕君、ほか委員および幹事:50名

1) 委員会6回、小委員会11回、打合せ7回、委員長会議1回、対談2回、2) 土木学会誌60巻4号から61巻3号まで12冊、増刊号1冊を編集、3) 年間発行総部数:36万9400部、年間発行総頁数:2078頁(広告を除く)

9.1 書評小委員会

委員長 塚山隆一君、ほか委員および幹事:12名

1) 小委員会7回、2) 土木系出版物の書評、新刊紹介およびブックガイド等を会誌に掲載。

10. 土木学会論文編集委員会

委員長 佐武正雄君、副委員長 浅川美利君、第1小委員会主査 倉西 茂君、第2小委員会主査 中川博次君、第3小委員会主査 浅川美利君、第4小委員会主査 吉川和広君、第5小委員会主査 小林一輔君、ほか委員および幹事:70名

1) 委員会1回、小委員会60回、主査幹事会12回、幹事会3回、打合せ4回、委員長会議1回、2) 論文報告集236号から247号まで12冊を編集、3) 年間発行総部数:6万9600部、年間発行総頁数:1601頁、4) Transactions of JSC

E, Vol. 5 を編集。

11. 文献調査委員会

委員長 日野幹雄君, ほか委員および幹事: 14 名

1) 委員会 6 回, 小委員会 2 回, 2) 会誌 60 巻 4 号から 61 巻 3 号まで文献抄録 48 件, 57 頁, 文献目録 122 頁を登載, 3) 解説記事 5 編を登載。

11.1 図書館運営小委員会

委員長 園田桂一君, ほか委員および幹事: 4 名

1) 小委員会 2 回, 2) 図書館備付図書の収集整備, 3) 「図書館だより」12 頁を会誌に登載, 4) 図書館運営全般にわたり検討。

12. 出版委員会

委員長 丸安隆和君, 副委員長 堺 毅君, ほか委員および幹事: 13 名

1) 委員会 2 回, 打合せ回数, 2) 学会出版物および監修出版物の企画, 調整, 管理, 3) 50 年度中の主な刊行物は別表のとおり。

13. 日本土木史研究委員会

委員長 青木楠男君, ほか委員および幹事: 9 名

1) 委員会 1 回, 打合せ回数, 2) 日本における土木史に関する調査, 研究を実施, 3) 国立科学博物館の展示に協力。

14. 土木工学叢書委員会

委員長 最上武雄君, ほか委員および幹事: 8 名

15. 土木製図委員会

委員長 菊池洋一君, ほか委員および幹事: 26 名

1) 委員会 4 回, 打合せ回数, 2) 「土木製図基準」を改訂作業中, 新企画として「製図の書き方」を編集。

16. わかり易い土木講座編集委員会

委員長 福田武雄君, 副委員長 後藤正司君, ほか委員および幹事: 37 名

17. コンクリート委員会

委員長 園分正胤君, ほか委員および幹事: 61 名

1) 打合せ 1 回, 2) コンクリートに関する調査研究を実施。

17.1 運営小委員会

委員長 園分正胤君, ほか委員および幹事: 19 名

1) 小委員会 4 回, 2) コンクリート関係の小委員会および委託研究委員会の調査研究を促進

17.2 コンクリート調整分科会

主査 村田二郎君, ほか委員および幹事: 8 名

1) 分科会 8 回, 打合せ 2 回, 2) コンクリート標準示方書の増補, 修正等について調査研究を実施。

17.3 海外連絡小委員会

委員長 園分正胤君, ほか委員および幹事: 25 名

1) 小委員会数回, 2) 諸外国のコンクリート技術者との交流を図ることを目的として調査研究を実施。

17.4 プレストレストコンクリート設計施工指針改訂小委員会

委員長 園分正胤君, 副委員長 河野通之君, ほか委員および幹事: 69 名

1) 分科会 19 回, 打合せ 6 回, 2) プレストレストコンクリート設計施工指針の改訂につき, 調査研究を実施。

17.5 コンクリート船体構造小委員会

委員長 園分正胤君, 副委員長 田中行男君, ほか委員および幹事: 24 名

1) 小委員会 1 回, 打合せ 1 回, 2) プレストレストコンクリート船体構造に関する調査研究を実施

17.6 終局強度設計小委員会

委員長 園分正胤君, 副委員長 河野通之君, ほか委員および幹事: 34 名

1) 小委員会 1 回, 幹事会 4 回, 打合せ 1 回, 2) コンクリートの終局強度設計方法に関する調査研究を実施。

17.7 太極鉄筋小委員会 (受託)

委員長 園分正胤君, 副委員長 河野通之君, ほか委員および幹事: 32 名

1) 小委員会 3 回, 幹事会 5 回, 見学会 1 回, 2) 太極鉄筋を用いた構造物の設計指針の審議, 3) 見学会 (50.10.29 川崎製鉄千葉製鉄所) を実施。

17.8 海洋コンクリート構造物小委員会 (受託)

委員長 園分正胤君, 副委員長 田中行男君, ほか委員および幹事: 53 名

1) 小委員会 4 回, 分科会 4 回, 2) 海洋コンクリート構造物設計施工指針の審議。

18. 水理委員会

委員長 岸 力君, ほか委員および幹事: 53 名

1) 委員会 3 回, 幹事会 7 回, 2) 水理学に関する調査研究を実施, 3) 第 11 回水工学に関する 夏期研修会 (50.8.20~23 札幌市) を開催し講義集を編集, 4) 第 20 回水理講演会 (51.2.6~7 東京都) を開催し講演集を編集, 5) 「昭和 49, 50 年度水理学研究の現況」の編集, 6) 日本学術会議水力学・水理学研究連絡委員会に協力。

18.1 水文学小委員会

委員長 石原安雄君, ほか委員および幹事: 13 名

1) 小委員会 1 回, 2) 水文学に関する調査研究を実施。

18.2 水理公式集小委員会

委員長 千秋信一君, ほか委員: 11 名

1) 幹事会 2 回, 2) 水理公式集例題集編集幹事会を組織し例題集を編集。

18.3 確率統計水文学研究小委員会

委員長 日野幹雄君, ほか委員および幹事: 27 名

1) 小委員会 3 回, 打合せ 3 回, 2) 確率統計水文学に関する調査研究を実施。

19. 鋼構造委員会

委員長 小西一郎君, 副委員長 奥村敏恵君, ほか委員および幹事: 26 名

1) 委員会 3 回, 幹事会 1 回, 打合せ 1 回, 2) 鋼構造工学に関する調査研究を実施, 3) 国際構造工学協会 (IABSE) および第 10 回国際会議東京開催 (51.9) に協力, 4) 鋼構造関係の小委員会および委託研究委員会の調査研究を促進。

19.1 鋼構造架設小委員会

委員長 菊池洋一君, ほか委員および幹事: 29 名

1) 小委員会 2 回, 幹事会 9 回, 2) 鋼構造の架設基準案作成のため調査研究を実施。

19.2 鋼構造進歩調査小委員会

委員長 田島二郎君, ほか委員および幹事: 5 名

1) 小委員会 1 回, 打合せ 1 回, 2) 国外および国内の鋼構造の進歩調査に関する調査研究を実施, 3) 「斜張橋資料集成」を編集, 4) 高張力鋼に関する調査研究を実施。

19.3 鋼材規格小委員会

委員長 阿部英彦君, ほか委員および幹事: 20 名

1) 小委員会 1 回, 幹事会 3 回, 2) 鋼材の規格に関する調査研究を実施。

19.4 本州四国連絡橋鋼上部構造研究小委員会 (受託)

委員長 奥村敏恵君, ほか委員および幹事: 51 名

1) 小委員会 3 回, 分科会 30 回, 打合せ 11 回, 見学会 2 回, 2) 本州四国連絡橋の鋼上部構造に関する調査研究を実施, 3) 座屈, 疲労, 塗装, 解析, 構造, 非破壊検査, 支承構造の各分科会において, それぞれ専門的に調査研究を実施, 4) 見学会 (50.8.28 建設機械化研究所, 50.9.10. オイレス工業 (株)) を実施。

20. 構造工学委員会

委員長 奥村敏恵君, 副委員長 河野通之君, ほか委員および幹事: 34 名

1) 委員会 2 回, 打合せ 1 回, 2) 構造工学に関する調査研究を実施, 3) 橋の景観とその形態および色彩に関する研究小委員会を設置, 4) 第 22 回風に関するシンポジウム (50.11.12 東京都) を共催, 5) 第 22 回構造工学シンポジウム (51.1.30 東京都) を共催, 6) 日本学術会議構造研究連絡委員会に協力, 7) 国際構造工学協会 (IABSE) および第 10 回国際会議東京開催 (51.9) に協力, 8) 構造工学関係小委員会および委託研究委

員会の調査研究を促進。

20.1 耐風設計研究小委員会

委員長 伊藤 孝君, ほか委員および幹事: 20 名

1) 小委員会 3 回, 分科会 1 回, 2) 構造物の耐風設計に関する調査研究を実施。

20.2 橋梁年報編集小委員会

委員長 関 淳君, ほか委員および幹事: 4 名

1) 小委員会 4 回, 2) 橋「1974～1975」を編集。

20.3 構造物安全性研究小委員会

委員長 小西一郎君, ほか委員および幹事: 55 名

1) 主査幹事会 1 回, 分科会 14 回, 2) 構造物の安全性, 信頼性に関する調査研究を実施, 3) 理論, 荷重, 強度, 設計指針の 4 分科会を設置し, 「構造物の安全性, 信頼性」を編集。

20.4 構造力学公式集編集委員会

委員長 前田幸雄君, ほか委員および幹事: 9 名

1) 構造力学公式集を編集し, 発刊記念講習会 (50.9.22～23 東京都 50.9.25～26 大阪市) を開催。

20.5 橋の景観とその形態および色彩に関する研究小委員会

委員長 田原保二君, ほか委員および幹事: 15 名

1) 小委員会 1 回, 幹事会 1 回, 2) 橋の景観とその形態および色彩に関する調査研究を実施。

20.6 本州四国連絡橋耐風研究小委員会 (受託)

委員長 岡内 功君, ほか委員および幹事: 21 名

1) 小委員会 3 回, 幹事会 8 回, 打合会 3 回, 2) 本州四国連絡橋の耐風に関する調査研究を実施。

21. 海岸工学委員会

委員長 細井正延君, ほか委員および幹事: 51 名

1) 委員会 3 回, 幹事会 5 回, 2) 海岸工学に関する調査研究を実施, 3) 第 22 回海岸工学講演会 (50.11.12～15 鳥取市) を開催し論文集を編集, 4) Coastal Engineering in Japan Vol. 18 を編集。

21.1 論文編集小委員会

委員長 服部昌太郎君, ほか委員および幹事: 14 名

1) 小委員会 3 回, 2) 第 22 回海岸工学講演会論文集および Coastal Engineering in Japan Vol. 18 を編集。

21.2 八郎潟干拓船越水道計画施工研究委員会 (受託)

委員長 本間 仁君, ほか委員および幹事: 10 名

1) 委員会 1 回, 現地視察 1 回, 2) 船越水道の計画施工に関して調査研究を実

施, 3) 現地視察 (50.10.6 秋田県大潟村) を実施。

22. 耐震工学委員会

委員長 岡本 舜三君, 副委員長 久保慶三郎君, ほか委員および幹事: 62 名

1) 委員会 3 回, 常任委員会 (研究会) 8 回, 幹事会 1 回, 打合会 1 回, 2) 耐震工学に関する調査研究を実施, 3) 第 4 回日本地震工学シンポジウム (50.11.26～28 東京都) を共催, 4) 日本学術会議地震工学研究連絡委員会に協力, 5) 国際地震工学会 (IAEE) に協力, 6) 耐震工学関係の委託研究委員会の調査研究を促進。

22.1 明石海峡大橋耐震設計小委員会 (受託)

委員長 久保慶三郎君, ほか委員および幹事: 42 名

1) 小委員会 3 回, 幹事会 7 回, 打合会 3 回, 現地視察 1 回, 2) 明石海峡大橋の耐震設計に関する調査研究を実施, 3) 現地視察 (50.9.8～10 明石海峡および番ノ洲高架橋) 実施。

22.2 高橋脚橋梁耐震設計小委員会 (受託)

委員長 久保慶三郎君, ほか委員および幹事: 33 名

1) 小委員会 3 回, 幹事会 5 回, 打合会 1 回, 現地視察 1 回, 2) 高橋脚橋梁の耐震設計に関する調査研究を実施, 3) 現地視察 (22.1 と同じ) を実施。

23. 原子力土木委員会

委員長 永田 年君, ほか委員および幹事: 25 名

1) コンクリート, 立地, 耐震, 廃棄物の各部会で調査研究を実施, 2) 第 12 回理工学における同位元素発表会 (50.6.18～20 東京都) を共催。

23.1 原子力コンクリート部会

部会長 國分正胤君, ほか委員および幹事: 32 名

1) 部会 1 回, 分科会 1 回, 2) 原子力コンクリートに関する調査研究を実施, 3) P C 圧力容器設計施工要領 (案) のとりまとめ中。

23.2 原子力立地部会

部会長 松井達夫君, ほか委員および幹事: 21 名

23.3 原子力耐震部会

部会長 岡本舜三君, ほか委員および幹事: 16 名

24.4 原子力廃棄物部会

部会長 左合正雄君, ほか委員および幹事: 19 名

1) 部会 1 回, 2) 原子力関係廃棄物の処理に関する調査研究を実施。

24. トンネル工学委員会

委員長 比留間豊君, ほか委員および幹事: 43

名

1) 打合会 1 回, 2) トンネル工学に関する調査研究を実施, 3) 示方書改訂小委員会を設置, トンネル標準示方書, シールド工法指針の改訂, および開削トンネル設計施工指針の作成作業を実施。

24.1 運営小委員会

委員長 伊吹山四郎君, ほか委員および幹事: 18 名

1) 打合会 1 回, 2) トンネル工学委員会の運営を実施。

24.2 示方書改訂小委員会

委員長 斎藤 徹君, ほか委員および幹事: 20 名

1) 打合会 1 回, 2) トンネル標準示方書, シールド工法指針改訂および開削トンネル設計施工指針の調整。

24.3 山岳トンネル小委員会

委員長 浜 建介君, ほか委員および幹事: 24 名

1) 小委員会 7 回, 幹事会 11 回, 打合会 6 回, 2) 山岳トンネルの調査研究ならびにトンネル標準示方書の改訂作業を実施。

24.4 シールド工法小委員会

委員長 遠藤浩三君, ほか委員および幹事: 34 名

1) 小委員会 3 回, 打合会 1 回, 分科会 1 回, 2) シールド工法の調査研究ならびにシールド工法指針の改訂作業を実施。

24.5 開削トンネル小委員会

委員長 渡辺 健君, ほか委員および幹事: 35 名

1) 小委員会 2 回, 幹事長会議 1 回, 分科会 42 回, 2) 開削トンネルの調査研究ならびに開削トンネル設計施工指針の作成を実施。

25. 衛生工学委員会

委員長 石橋多聞君, ほか委員および幹事: 26 名

1) 委員会 4 回, 幹事会 3 回, 2) 衛生工学に関する調査研究を実施, 3) 第 12 回衛生工学研究討論会 (51.1.30～31 東京都) を開催し講演集を編集, 4) 衛生工学関係小委員会および委託研究小委員会の調査研究を促進。

25.1 環境問題小委員会

委員長 川口士郎君, ほか委員および幹事: 23 名

1) 小委員会 5 回, 2) 環境問題に関する調査研究を実施, 3) 第 3 回環境問題シンポジウム (50.8.22～23 東京都) を開催し講演集を編集。

25.2 水質管理に関する研究小委員会 (受託)

委員長 丹保憲仁君, ほか委員および幹事: 14 名

1) 小委員会3回, 打合せ1回, 2) 水質管理に関して調査研究を実施。

25.3 琵琶湖の将来水質に関する調査小委員会(受託)

委員長 岩井重久君, ほか委員および幹事: 7名

1) 小委員会4回, 2) 琵琶湖の富栄養化機構解析について調査研究を実施。

26. 岩盤力学委員会

委員長 水越達雄君, 副委員長 飯田隆一君, ほか委員および幹事131名

1) 委員会1回, 運営委員会3回, 研究会3回, 分科会30回, 見学会1回, 2) 岩盤力学に関する調査研究を実施, 3) 研究会, 第1分科会(ダム), 第2分科会(トンネル), 第3分科会(理論と試験), 第4分科会(軟岩)において調査研究を実施, 4) 「土木技術者のための岩盤力学」昭和50年度改訂版を編集し講習会(50.7.29~30 東京都)を開催, 5) 第10回岩盤力学に関するシンポジウム(51.2.25~26 東京都)を開催, 6) “平板載荷による原位置岩盤の変形試験法の基準”を作成し, 土木学会誌3月号に掲載, 7) 岩の力学 ISRM 第3回国際会議報告講演会(50.6.4 東京都)を共催, 8) 見学会(51.2.19~20 上越新幹線大清水トンネル万太郎谷工区)を実施, 9) “ダムの地質調査法解説”を編集, 10) “土木技術者のためのトンネル掘進機による掘削実績と展望”を編集, 11) 国際岩の力学学会(ISRM)に協力, 12) 岩の力学研究連合委員会に協力。

27. 土木計画学研究委員会

委員長 八十島義之助君, 副委員長 長尾義三君, ほか委員および幹事: 44名

1) 委員会3回, 小委員会2回, 打合せ4回, 2) 土木計画学に関する調査研究を実施, 3) 第8回土木計画学講習会(50.9.8~9 東京都)を開催し講習会テキストを編集, 4) 第10回土木計画学シンポジウム(51.1.26~27 東京都)を開催, 5) 委員会設置後10年を経たので委員会活動を刷新するための「委員会活動に関するメモ」等を作成。

27.1 土木計画学シリーズ編集委員会

委員長 長尾義三君, ほか委員および幹事: 7名

1) 打合せ1回, 2) シリーズの編集作業を継続, 3) 第Ⅱ巻を51年1月出版。

27.2 土木計画学用語小委員会

委員長 菅原 操君, ほか委員および幹事: 6名

1) 用語について執筆, 監修を終了, 土木計画学シリーズ第1巻に収録の予定。

28. 海洋開発委員会

委員長 木間 仁君, ほか委員および幹事: 29名

1) 幹事会2回, 2) 海洋開発に関する調査研究を実施, 3) 沿岸海洋開発の国際協力と交流の講演会(50.3.22 東京都)を開催, 4) 第6回海洋開発シンポジウム(50.9.12 東京都)を開催し講演集を編集, 5) 国際海洋工学委員会(ECOR)国内委員会に協力。

29. 電算機利用委員会

委員長 丸安隆和君, ほか委員および幹事: 25名

1) 委員会2回, 打合せ3回, 準備会1回, 2) 電算機利用に関する調査研究を実施, 3) 日本電信電話公社より土木設計の電算機有効利用に関する調査研究を受託。

29.1 企画小委員会

委員長 大地羊三君, ほか委員および幹事: 8名

1) 小委員会2回, 2) 電算機利用に関するシンポジウムの開催を検討。

29.2 プロジェクト小委員会

委員長 成岡昌夫君, ほか委員および幹事: 12名

1) 小委員会8回, 打合せ8回, 2) 土木設計の電算機有効利用に関する調査研究を実施。

30. 青函トンネル土圧研究委員会(受託)

委員長 岡本舜三君, ほか委員および幹事: 33名

1) 委員会2回, 小委員会5回, 打合せ2回, 現地視察1回, 2) 青函トンネルの土圧に関する調査研究を実施, 3) 現地視察(50.8.27~31 吉岡・竜飛両建設現場)を実施。

31. 海洋構造物に関する調査研究委員会(受託)

委員長 村上永一君, ほか委員および幹事: 39名

1) 委員会4回, 幹事会5回, 打合せ2回, 2) 海洋構造物に関する調査研究を完了, 3) 「海上作業足場の設計要領」を報告書としてとりまとめ委託先の了解を得て同書をテキストとし講習会開催(51.6)を計画。

32. 高校土木教育研究委員会

委員長 花房 保君, 副委員長 橋本 清君, ほか委員および幹事: 17名

1) 委員会2回, 幹事会4回, 2) 高校における土木教育を充実するための調査研究を実施, 3) 高校土木科教職員を対象とする夏期講習会(50.8.4~6 東京都)を実施。

33. 大学土木教育委員会

委員長 丹羽義次君, ほか委員および幹事: 10名

1) 幹事会5回, 2) 大学土木教育に関して調査研究を継続。

34. 視聴覚教育委員会

委員長 鈴木忠義君, ほか委員および幹事: 18名

1) 委員会3回, 小委員会3回, 選定映画審査会11回, 2) 視聴覚教材の収集, 教育過程への応用に関する検討, 3) 「選定映画」の審査, 4) 「選定映画報告」4編2頁を会誌に登録。

35. 海外活動委員会

委員長 長尾 満君, ほか委員および幹事: 29名

1) 委員会2回, 幹事会3回, 打合せ5回, 懇談会1回, 2) 講習会「海外建設工事成功への鍵をさぐる」(51.2.13 大阪市, 51.3.12 東京都)を実施, 3) Civil Engineering in Japan 1975年版を編集, 4) 学会誌第61巻1号特集「国際化時代と海外協力」への編集につき協力。

35.1 CEP 編集小委員会

委員長 長尾 満君, ほか委員および幹事: 6名

1) 小委員会2回, 2) Civil Engineering Procedure の対訳編集。

36. 建設コンサルタント委員会

委員長 横田周平君, ほか委員および幹事: 28名

37. 安全問題研究委員会

委員長 丸安隆和君, ほか委員および幹事: 21名

38. 水資源問題懇談会

座長 石原謙次郎君, ほか委員および幹事: 17名

1) 水の有効利用に関するシンポジウム開催について検討中。

39. 総合開発懇談会

座長 井上 孝君, ほか委員および幹事: 45名

1) 懇談会1回, 2) 「中央自動車道鳥山工事にみる建設と地域住民とのかわり合い」(レポーター: 武部健一氏)について懇談会を開催。

40. 建設業に関する懇談会

座長 高野 務君, ほか委員および幹事: 34名

41. 土木会館建設懇談会

座長 高野 務君, ほか委員および幹事: 15名

42. 環境問題懇談会

座長 山本三郎君, ほか委員および幹事: 33名

1) 土木に関する環境問題の検討。

V 本部行事

1) 講演会, 研究発表会, シンポジウム
① 50.3.22 沿岸海洋開発の国際協力と交流の講演会/土木図書館講堂/講演数: 6題, 参加者: 61名

② 50.8.22~23 第3回環境問題シンポジウム/土木図書館講堂/講演数: 19題, 参加者: 180名

③ 50.9.12 第6回海洋開発シンポジウム/土木図書館講堂/特別講演数: 1

昭和50年度出版物一覧表

(50.4.1~51.3.31)

編 集	書 名	編 集	書 名
海岸工学委員会	第22回海岸工学講演会論文集 Coastal Engineering in Japan '75	海外活動委員会	Civil Engineering in Japan '1975
水 理 委 員 会	第19回水理講演会講演集	沈埋トンネル耐震設計研究会	沈埋トンネル耐震設計指針案
"	水工学に関する夏期研修会講義集 1975A・B	環 境 問 題 小 委 員 会	第3回環境問題シンポジウム講演集
水理公式集例題集編集委員会	水理公式集例題集	土 木 学 会	実務者のための工事管理
コンクリート委員会	コンクリートライブラリー No. 40, No. 41	阪神高速道路公団	港大橋工事誌
衛生工学委員会	第12回衛生工学研究討論会講演論文集	日本の土木技術編集委員会	日本の土木技術 (60周年記念出版)
橋梁年報編集委員会	橋 1974~1975	欧文論文集編集委員会	Transaction of JSCE Vol. 5
構造力学公式集編集委員会	構造力学公式集発刊記念講習会テキスト	岩 盤 力 学 委 員 会	第10回岩盤力学シンポジウム講演概要集
土木計画学研究委員会	第9回土木計画学シンポジウムテキスト	"	土木技術者のための岩盤力学 (50年改訂版)
"	第8回土木計画学講習会テキスト	土 木 学 会	第30回年次学術講演会概要集第1部~第5部
海洋開発委員会	第6回海洋開発シンポジウムテキスト	鋼構造進歩調査小委員会	斜張橋資料集成

題, 講演数: 8題。

④ 50.10.6 Dr. K.J. Ives講演会/
土木図書館講堂/講演数: 1題, 参加者: 100名

⑤ 50.10.16~18 昭和50年度全国大会/名古屋工業大学/1. 特別講演会 講演数: 3題, 参加者: 700名, 2. 研究討論会および部門別講演 テーマ数: 7題, 参加者: 延 1185名, 3. 第30回年次学術講演会

I部門: 309題 参加者: 延 1309名
II部門: 322題 参加者: 延 1770名
III部門: 244題 参加者: 延 1130名
IV部門: 186題 参加者: 延 660名
V部門: 192題 参加者: 延 930名

4. 映画: 25編

⑥ 50.11.12~14 第22回海岸工学講演会/鳥取市福祉文化会館/講演数: 97題, 参加者: 350名

⑦ 51.1.26~27 第10回土木計画学シンポジウム/土木図書館講堂/講演数: 7題, 参加者: 166名

⑧ 51.1.30~31 第12回衛生工学研究討論会/発明会館/講演数: 24題, 参加者: 275名

⑨ 51.2.6~7 第20回水理講演会/発明会館/講演数: 31題, 参加者: 250名

⑩ 51.2.25~26 第10回岩盤力学に関するシンポジウム/土木図書館講堂/特別講演数: 1題, 講演数: 23題, 参加者: 180名

2) 講習会, 研修会, 報告会

① 50.5.26~30 土木技術者のための数値解析法講習会/土木図書館講堂/参加者: 延 776名

② 50.7.29~30 土木技術者のための岩盤力学講習会/ニッショーホール/参加者: 304名

③ 50.8.4~6 高校土木科教職員を対象とする夏期講習会/土木図書館講堂/参加者: 80名

④ 50.8.20~23 第11回水工学に関

する夏期研修会/北海道大学/講演数:

・A・Bコース各9題/参加者: A 131名, B 105名

⑤ 50.8.28~29 昭和50年度夏期講習会: 実務者のための工事管理/第一生命ホール/参加者: 280名

⑥ 50.9.8~9 第8回土木計画学講習会/発明会館/参加者: 304名

⑦ 50.9.22~23 構造力学公式集発刊記念講習会(東京)/土木図書館講堂/講演数: 9題, 参加者: 117名

⑧ 50.9.25~26 構造力学公式集発刊記念講習会(大阪)/日本生命中之島研修所/講演数: 9題, 参加者: 152名

⑨ 51.2.13 講習会「海外建設工事成功への鍵をさぐる」(大阪)/科学技術センター/講演数: 5題, 参加者: 80名

⑩ 51.3.12 講習会「海外建設工事成功への鍵をさぐる」(東京)/土木図書館講堂/講演数: 5題, 参加者: 172名

3) 見学会

① 50.5.26~6.8 第2回土木技術者のための海外研修旅行/アメリカ西海岸の諸研究機関/参加者: 30名

② 50.10.5~17 第3回土木技術者のための海外研修旅行/ソビエト連邦諸研究機関/参加者: 28名

③ 50.10.19 昭和50年度全国大会に伴う見学会/日本ライン下り, 明治村/参加者: 27名

④ 50.11.15 第22回海岸工学講演会に伴う見学会/鳥取県海岸めぐり/参加者: 26名

⑤ 51.3.14~20 第4回土木技術者のための海外研修旅行/東南アジア諸国の研究機関/参加者: 24名

4) 懇親会

① 50.5.22 第61回通常総会に伴う懇親会/私学会館ホール/参加者: 130名

② 50.10.16 昭和50年度全国大会に伴う懇親会/名古屋公会堂/参加者:

350名

③ 50.11.13 第22回海岸工学講演会に伴う懇親会/浜村温泉/参加者: 54名

5) 他学協会との共催, 協賛, 後援

① 50.6.18~20 第12回理工学における同位元素研究発表会(共催)(東京都)

② 50.6.23~24 試験孔を利用する物理探査法講習会(協賛)(東京都)

③ 50.7.14~15 試験孔を利用する物理探査法講習会(協賛)(大阪市)

④ 50.10.7~8 第19回材料研究連合講演会(共催)(東京都)

⑤ 50.10.23~24 “溶接構造物の信頼性に関する問題点”講習会(共催)(東京都)

⑥ 50.10.28~29 第25回応用力学連合講演会(共催)(東京都)

⑦ 50.11.12 第22回風に関するシンポジウム(共催)(東京都)

⑧ 50.11.13~14 “溶接構造物の信頼性に関する問題点”講習会(共催)(北九州市)

⑨ 50.11.17~18 第6回安全工学国内シンポジウム(共催)(東京都)

⑩ 50.11.26~28 第4回日本地震工学シンポジウム(共催)(東京都)

⑪ 50.12.1~8 流域の水循環とその変化に関する国際シンポジウム(共催)(東京都)

⑫ 50.12.10 第13回高分子と水に関する討論会(協賛)(東京都)

⑬ 51.1.30 第22回構造工学シンポジウム(共催)(東京都)

⑭ 51.2.5 河川災害シンポジウム(後援)(東京都)

VI 支部行事

1. 北海道支部

1) 支部総会 (50.5.29, 札幌市民会館)/2) 商議員会 3回/3) 幹事会 4回/4) 行事別幹事会 21回/5) 支部運営委員会 1回/6) その他会議 5回/7) 講演

会 ① 50.5.26: アメリカにおける具体的建設工事の開発(北海道大学)講演数: 1題, 参加者: 500名, ② 50.9.4: 地域開発と交通環境(共催・室蘭建設協会)講演数: 2題, 参加者: 51名, ③ 50.10.24: 輸送機関の動向(共催・北海道電力)講演数: 1題, 参加者: 43名, ④ 51.2.5: 建設業をめぐる最近の諸問題(共催・札幌市民会館)講演数: 1題, 参加者: 85名/8)講習会 ① 50.10.17: 下水道に関する講習会(札幌市民会館)講演数: 4題, 参加者: 126名, ② 50.12.4~5: 掘削およびコンクリート施工講習会(共催・札幌市民会館)講演数: 7題, 参加者: 292名, ③ 51.2.16~17: 現場技術者のための「土木工事の積算と管理」講習会(共催・自治会館)講演数: 7題, 参加者: 310名/9)研究発表会 51.2.4~5: 支部年次技術研究発表会(札幌市民会館)発表数: 66題, 参加者: 260名/10)見学会 ① 50.6.20: 第1回(共催)地下鉄南北線麻布工区, 地下鉄東西線琴似駅, 手稲下水処理場, サッポロビール工場, 参加者: 65名, ② 50.10.7~8: 第2回(共催)青函トンネル工事現場, 参加者: 80名/11)刊行物 支部年次技術研究発表会論文報告集第32号(51.2)1500部

2. 東北支部

1) 支部総会(50.5.15, セントラルホテル)/2) 役員会1回/3) 商議員会2回/4) 幹事会2回/5) 昼食会7回/6) 建設業懇談会7回/7) 講演会 ① 50.6.6: 第1回(東北大学教室), 講演数: 1題, 参加者: 150名, ② 50.8.11: 第2回(労働福祉会館)講演数: 8題, 参加者: 310名, ③ 50.12.12: 第3回(労働福祉会館)講演数: 3題, 参加者: 70名/8) 技術講座 50.10.24: 技術講座(福島県文化センター)講演数: 2題, 参加者: 380名/9) 技術研究発表会 51.2.20: 技術研究発表会(岩手大学工学部講義室)参加者: 400名/10) 見学会(学生) ① 50.11.7: 第1回(東北学院大学)新幹線仙台駅, 樽水ダムなど, 参加者: 39名, ② 50.10.30: 第2回(東北大学)東北自動車道, 福島原子力発電所, 参加者: 70名, ③ 50.10.27: 第3回(岩手大学)国道45号線, 106号線, 宮古港, 参加者: 51名, ④ 50.11.10: 第4回(秋田大学)仙岩トンネル, 仁井田浄水場, 参加者: 50名, ⑤ 50.12.11: 第5回(東北工業大学)南蒲生下水処理場, 参加者: 50名, ⑥ 51.3.18: 第6回(日本大学)小名浜臨海工業団地造成工事, 相馬港拡張工事, 参加者: 50名/11) 映画会 ①

50.9.5: 第1回(一般・日立ファミリーセンター)映画: 5編, 参加者: 170名, ② 50.10.24: 第2回(一般・福島県文化センター)映画: 3編, 参加者: 380名, ③ 50.11: 第3回(岩手大学)映画: 5編, 参加者: 80名, ④ 50.12: 第4回(日本大学)映画: 4編, 参加者: 150名/12) 懇親会 ① 50.5.15: 第1回(セントラルホテル)参加者: 125名, ② 51.1.21: 第2回(グランドホテル)参加者: 31名, ③ 51.2.20: 第3回(岩手大学学生食堂)参加者: 45名/13) 刊行物 ① 技術講座講演集: 200部, ② 技術研究発表会講演概要集: 200部, ③ 新交通システム講演会テキスト 200部

3. 関東支部

1) 支部総会(50.5.12, 土木図書館講堂)/2) 支部長, 幹事長, 主査幹事打合せ2回/3) 幹事会2回/4) 担当幹事会7回/5) 役員候補者選考委員会2回/6) 全国大会懇談会1回/7) 全国大会準備会1回/8) 全国大会講演部会4回/9) 講習会 ① 50.5.28: コンクリート示方書改訂講習会(朝日講堂)講演数: 7題, 参加者: 193名, ② 50.11.28: 最近の都市土木における諸問題講習会(土木図書館講堂)講演数: 5題, 参加者: 82名, ③ 51.3.12: 講習会「海外建設工事成功への鍵をさぐる」(協賛・土木図書館講堂)講演数: 5題, 参加者: 172名/10) 講演会 50.12.3: 低成長経済の問題点(土木図書館講堂)講演数: 1題, 参加者: 45名/11) 研究発表会 51.1.20~21: 第3回年次研究発表会(国立教育会館)発表数: 137題, 参加者: 320名/12) 見学会 ① 50.11.24~25: 第1回, 上越新幹線大清水トンネル工事, 参加者: 37名, ② 51.3.9: 第2回, オリエンタルコンクリート(株)多摩工場, 日本ヒューム管(株)府中工場, 参加者: 55名/13) 映画会 ① 50.4.16: 群馬県建設技術協会, 参加者: 120名, ② 50.4.22: 木更津工業高等専門学校, 参加者: 140名, ③ 50.4.25: 山梨大学, 参加者: 120名, ④ 50.4: 日本大学習志野校舎, 参加者: 1000名, ⑤ 50.4: 小石川工業高等学校, 参加者: 25名, ⑥ 50.4: 田無工業高等学校, 参加者: 85名, ⑦ 50.5: 群馬工業高等専門学校, 参加者: 40名, ⑧ 50.9.18: 木更津工業高等専門学校, 参加者: 120名, ⑨ 51.1.31: ヤマハホール(本部と共催)参加者: 510名

4. 中部支部

1) 支部総会(50.4.17, 石川県社会教育センター)/2) 役員会3回/3) 商議員会1回/4) 評議員会・顧問会1回/5)

幹事会10回/6) 講演会 ① 50.4.17: 支部総会特別講演会(石川県社会教育センター)講演数: 3題, 参加者: 80名, ② 50.6.17: 特別講演会(共催・愛知県産業貿易館)講演数: 1題, 参加者: 140名, ③ 50.11.5: 第1回講演会(静岡中小企業会館)講演数: 4題, 参加者: 120名/7) 講習会 51.2.20: 都市土木工事における環境対策講習会(愛知県産業貿易館)講演数: 3題, 参加者: 123名/8) 技術講座 50.7.11: 新交通システムについて(愛知県産業貿易館)講演数: 3題, 参加者: 181名/9) 研究発表会 51.1.30: 第1回研究発表会(金沢大学)発表数: 103題, 特別講演数: 1題/10) 見学会 ① 50.4.17: 支部総会に伴う見学会, 兼六園, 能登海浜道路, 参加者: 40名, ② 50.6.18: 第1回, 恵那山トンネル, 中央自動車道, 参加者: 108名, ③ 51.3.23: 第2回岩屋ダム, 参加者: 50名/11) 懇親会 50.4.17: 支部総会に伴う懇親会(石川県山中町)参加者: 46名/12) その他 50.10.16~19: 昭和50年度全国大会(中部支部担当・名古屋工業大学)参加者: 延3000名

5. 関西支部

1) 支部総会(50.5.8, 好文倶楽部)/2) 支部長・商議員・評議員の選挙, 3) 役員会 商議員会4回, 幹事会8回, 総務・会計担当幹事会1回, 企画・編集担当幹事会1回, 総務担当幹事会5回, 会計担当幹事会3回, 企画担当幹事会5回, 編集担当幹事会6回/4) 委員会 騒音・振動に関する環境委員会, 委員会7回, 幹事会3回, 幹事打合せ3回, 総合交通システム研究委員会 委員会8回, 幹事会7回, 鉄筋コンクリート床版疲労設計委員会, 委員会8回, 幹事会1回/5) 打合せその他 土木学会賞候補支部推薦打合せ2回, 役員候補者選考委員会委員打合せ1回, 専務理事を囲む懇談会1回, 行事企画委員会委員長と関西支部との打合せ1回, 土質工学会関西支部移転に関する打合せ1回, 会計担当幹事打合せ1回, 公認会計士と打合せ1回, 支部だより7号編集幹事打合せ6回, 支部だより8号編集幹事打合せ3回, 土木技術と環境問題研究懇話会打合せ1回, 第1回見学会打合せ2回, 幹事懇親会1回, 騒音・振動に関する環境委員会夕食会1回, 総合交通システム研究委員会夕食会1回, 会計監査2回/6) 講演会 ① 50.4.30: 支部年次学術講演会(大阪工業大学), 特別講演数: 1題, 講演数: 238題, 参加者: 530名, ② 50.5.15: Mattok教授特別講演会(科学技術センター)

講演数;1題,参加者;63名,③ 50.6.5:地域計画講演会(公共土木施設計画における環境管理(科学技術センター)講演数;4題,参加者;101名,④ 50.10.22:高専学生対象講演会(第1会場・神戸高専)講演数;2題,参加者;120名,⑤ 50.10.22:高専学生対象講演会(第2会場・明石高専)講演数;2題,参加者;170名,⑥ 50.11.7:和歌山地方講演会(共催・和歌山県民文化会館)講演数;4題,参加者;101名,⑦ 51.1.16:技術革新講演会(好文倶楽部)講演数;3題,参加者;96名/7)講習会① 50.5.27~28:第5回初心者のための有限要素法講習会(第1部基礎コース)(協賛・京大楽友会館)講演数;4題,参加者;128名,② 50.6.2~3:第5回初心者のための有限要素法講習会(第2部プログラミングと応用コース)(協賛・京大楽友会館)講演数;3題,参加者;98名,③ 50.7.16~17:騒音・振動に関する環境問題入門講習会(第1組・科学技術センター)講演数;11題,参加者;79名,④ 50.7.16~17:騒音・振動に関する環境問題入門講習会(第2組・科学技術センター)講演数;11題,参加者;79名,⑤ 50.7.21~23:土と基礎の設計計算講習会(協賛・科学技術センター)講演数;12題,参加者;153名,⑥ 50.9.25~26:構造力学公式集発刊記念講習会(大阪)(後援・日本生命中之島研修所)特別講演数;1題,講演数;7題,参加者;161名,⑦ 50.11.11~12:土留め構造物の設計法講習会(協賛・毎日文化ホール)講演数;9題,参加者;172名,⑧ 50.11.18:プレストレストコンクリート技術講習会—最近のPCの動向について—(協賛・関電ホール)講演数;5題,参加者;200名,⑨ 50.11.17~19:土木技術者のための数値解析法講習会(大阪)(第1部基礎コース・科学技術センター)講演数;4題,参加者;88名,⑩ 50.11.20~21:土木技術者のための数値解析法講習会(大阪)(第2部応用コース・科学技術センター)講演数;10題,参加者;62名,⑪ 50.11.25~26:「都市域における水環境および都市水文に関する技術的問題」講習会—都市水文委員会研究報告—(科学技術センター),講演数;11題,参加者;104名,⑫ 51.1.29~30:信頼性設計に関する講習会(共催・府立工業技術研究所)講演数;7題,参加者;97名,⑬ 51.2.3~4:設計者と施工者のための「地下工法の考え方」講習会(協賛・科学技術センター)講演数;6題,参加者;233名,⑭ 51.2.13:

講習会「海外建設工事成功への鍵をさぐる」(大阪)(協賛・科学技術センター)講演数;5題,参加者;72名,⑮ 51.2.24~25:土と基礎の沈下と変形に関する講習会(協賛・科学技術センター)講演数;8題,参加者;179名/8)研修会 51.1.27~28:構造物の耐震設計(科学技術センター),講演数;6題,参加者;54名/9)研究・懇話会① 50.8.22・29/9.5・12「土と基礎の事故防止」研究・懇話会(共催・科学技術センター)話題;8題,参加者;80名,② 51.1.29:土木技術と環境問題研究・懇話会(第2回)交通施設における騒音と振動(科学技術センター)話題;5題,参加者;108名/10)映画会(一般)50.4.30:大阪工業大学,映画;5編,参加者;217名,(学生)① 50.11.1:福井大学,映画;6編,参加者;80名,② 50.11.3:福井工業大学,映画;6編,参加者;135名,③ 50.11.4:福井工業高等専門学校,映画;6編,参加者;130名,④ 50.11.6:舞鶴工業高等専門学校,映画;6編,参加者;172名,⑤ 50.11.8:京都大学,映画;6編,参加者;43名,⑥ 50.11.10:京都大学防災研究所,映画;6編,参加者;25名,⑦ 50.11.11:立命館大学,映画;6編,参加者;160名,⑧ 50.11.12:大阪府立工業高等専門学校,映画;6編,参加者;100名,⑨ 50.11.13:関西大学,映画;6編,参加者;120名,⑩ 50.11.14:大阪大学,映画;6編,参加者;74名,⑪ 50.11.15:大阪工業大学,映画;6編,参加者;153名,⑫ 50.11.17:神戸工業高等専門学校,映画;6編,参加者;120名,⑬ 50.11.18:神戸大学,映画;6編,参加者;60名,⑭ 50.11.19:明石工業高等専門学校,映画;6編,参加者;84名,⑮ 50.11.20:修成建設専門学校,映画;6編,参加者;133名,⑯ 50.11.21:近畿大学,映画;6編,参加者;203名,⑰ 50.11.22:大阪市立大学,映画;6編,参加者;67名,⑱ 50.11.26:和歌山工業高等専門学校,映画;6編,参加者;52名/11)見学会① 50.10.30:第1回(共催)浄化センター施設,天理ダム工事,国営飛鳥公園事業,参加者;55名,② 50.5.30:第1回学生,淀川大堰,毛馬水門,地下鉄2号線建設工事,高速松原線建設工事,参加者;35名,③ 50.12.5:第2回学生,堺・泉北臨海地区埋立造成工事,参加者;33名/12)シンポジウムその他① 51.1.23:座談会・曲り角にきたのか土木工事(好文倶楽部)参加者;9名,② 51.3.19:シンポジウム・未来を開く

土木技術者の養成(好文倶楽部)話題;6題,参加者;73名/13)懇親会① 50.5.8:支部総会に伴う懇親会(好文倶楽部)参加者;36名,② 51.1.16:会員懇親会(好文倶楽部)参加者;45名/14)懇談会 51.2.25:支部に関する懇談会(好文倶楽部)参加者;7名/15)支部だより刊行2回/16)関西の土木工事の概要刊行1回。

6. 中国四国支部

1) 支部総会(50.5.20,岡山衛生会館)/2) 役員会2回/3) 幹事会5回/4) 講演会① 50.5.20:支部総会特別講演会(岡山衛生会館)講演数;3題,参加者;275名,② 50.5.20~21:支部第27回学術講演会(岡山衛生会館)講演数;72題,参加者;260名/5) 講習会① 50.10.6:コンクリート標準示方書改訂講習会(中国新聞ビル)講演数;5題,参加者;402名,② 50.10.8:コンクリート標準示方書改訂講習会(島根県庁)講演数;5題,参加者;236名,③ 50.10.23:コンクリート標準示方書改訂講習会(四国電力ビル別館)講演数;5題,参加者;169名,④ 50.10.21:鋼構造物の破壊に関する講習会(日本鋼管福山製鉄所)講演数;4題,参加者;50名/6) 優秀卒業生表彰① 大学6名,② 短期大学2名,③ 工業高等専門学校5名,④ 工業高等学校24名

7. 西部支部

1) 支部総会(50.4.25,電気ビル)/2) 地区評議員会1回,3) 幹事会4回,4) 講習会 50.8.28:昭和50年度夏期講習会(熊本県阿蘇白雲山荘)講演数;8題,参加者;112名/5) 発表会① 50.11.28:新材料新工法発表会(福岡市電気ホール),発表数;4題,参加者;141名,② 51.2.22:年次研究発表会(宮崎大学),発表数;159題,参加者;176名/6) 見学会① 50.7.25:第1回長崎県平戸大橋,参加者;65名,② 50.8.29:第2回福岡県寺内ダム,参加者;49名,③ 50.9.26:第3回福岡市地下街工事,参加者;185名/7) 映画会① 50.8.28:第1回阿蘇白雲山荘,参加者;50名,② 51.2.22:第2回宮崎大学,参加者;50名,③ 51.3.4:第3回,鹿児島市産業会館,参加者;80名,④ 51.3.5:第4回,宮崎市水産会館,参加者;130名,⑤ 51.3.10:第5回,福岡市電気ホール,参加者;80名

VII 会員年間統計

年別	正会員	特別会員							名誉会員	賛助会員	学生会員	合計
		特級	一級A	一級B	一級C	一級D	二級	小計				
50.3	22 290	65	42	91	228	430	129	985	70	30	3 832	27 207
51.3	21 620	65	42	89	221	448	137	1 002	71	30	4 394	27 117
増減	-670	±0	±0	-2	-7	+18	+8	+17	+1	±0	+562	-90

●議案 2

昭和 50 年度決算報告書

(昭和50年4月1日～昭和51年3月31日)

1. 普通会計

収入の部		支出の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
1. 会費収入	178 475 336	1. 会誌発行費	78 865 988
1. 正会員	115 716 935	2. 論文報告集発行費	23 700 904
2. 学生会員	8 601 570	3. 名簿発行費	20 498 467
3. 特別会員	54 156 831	4. 行 事 費	16 579 278
2. 論文報告集収入	20 217 733	5. 調 査 研 究 費	16 593 399
3. 広告収入	25 179 800	6. 土木学会会費	1 320 825
4. 行 事 収入	20 765 047	7. 支部交付金	24 743 706
5. 図書館収入	3 847 493	8. 図書整備費	2 407 124
6. 利 子 収入	19 238 657	9. 一般管理費	90 555 621
7. 名簿引当金取崩	5 000 000	1. 事務費	77 264 157
繰入		2. 借 地 料	1 398 865
8. 関東支部負担金	2 200 000	3. 会費等徴収費	2 817 605
9. 雑 収 入	2 055 455	4. 会 議 費	2 494 393
小 計	276 979 521	5. 減価償却費	1 233 880
		6. 退職給与積立金	3 420 000
		7. そ の 他	1 926 721
		10. 予 備 費	158 148
		小 計	275 423 460
		11. 当期剰余金	1 556 061
合 計	276 979 521	合 計	276 979 521

2. 出版会計

収入の部		支出の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
1. 刊行物売上	147 651 442	1. 売上原価	96 259 303
2. 広告収入	7 395 000	1. 期首棚卸高	42 813 153
3. 印税、監修料収入	8 464 655	2. 当期製造原価	89 171 305
		3. 荷造発送費	1 318 327
		4. 期末棚卸高	437 043 482
		2. 一般管理費	61 822 387
		1. 事務費	51 509 441
		2. 借 地 料	932 577
		3. 振替払込手数料	1 451 493
		4. 会 議 費	1 662 929
		5. 原価償却費	822 587
		6. 退職給与積立金	2 280 000
		7. そ の 他	3 163 360
		3. 出版委員会費	217 510
		4. 差引剰余金	5 211 897
合 計	163 511 097	合 計	163 511 097

3. 委託研究会計

収入の部		支出の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
1. 50 年度受入高	65 420 000	1. 研 究 費	58 471 538
2. 前年度より繰越金	6 187 303	2. 一 般 管 理 費	7 899 780
		3. 次年度へ繰越金	5 235 985
合 計	71 607 303	合 計	71 607 303

4. 吉田博士記念事業会計

収入の部		支出の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
1. 東京電力株配当金	2 872 398	1. 賞 金	0
2. 貸付信託預金利子	531 180	2. 奨 励 金	2 810 000
3. 銀行預金利子	54 108	3. 賞 牌	359 200
小 計	3 457 686	4. 受 賞 者 旅 費	63 640
4. 東京電力株売却金	4 695 328	5. 委 員 会 費	261 160
5. 前年度より繰越金	2 269 663	6. 論 文 審 査 費	84 000
		7. 事 務 費	31 640
		8. 雑 費	0
		小 計	3 609 640
		9. 次年度へ繰越金	6 813 037
		現金、預金	4 043 037
		東京電力株券	2 770 000
合 計	10 442 677	合 計	10 422 677

5. 田中博士記念事業会計

収入の部		支出の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
1. 東京電力社債利子	380 000	1. 賞 金	200 000
2. 貸付信託預金利子	602 734	2. 賞 牌	172 000
3. 銀行預金利子	107 222	3. 受 賞 者 旅 費	39 440
小 計	1 089 956	4. 論 文 審 査 費	60 000
4. 前年度より繰越金	5 428 562	5. 委 員 会 費	501 910
		6. 事 務 費	5 350
		7. 出版負担金「橋」	150 000
		小 計	1 128 700
		8. 次年度へ繰越金	5 389 818
合 計	6 518 518	合 計	6 518 518

6. 創立60周年記念事業会計

収入の部		支出の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
1. 寄付金収入	45 799 950	1. 記念出版物発行費	6 637 910
2. 記念出版物売上	1 181 816	1. 日本の土木技術	6 522 760
3. 利 子 収 入	249 370	2. 会誌、論文集	115 150
		総 集	
		2. 記念映画製作費	7 969 480
		3. 巡回映画会開催費	1 351 080
		4. 功績賞受賞者声の記録テープ製作費	949 643
		5. 図書収納書架費	6 013 000
		6. 図書購入費	3 484 572
		7. 記念出版物買上費	2 500 000
		8. 諸 経 費	2 793 158
		小 計	31 698 843
		9. 剰 余 金	15 532 293
合 計	47 231 136	合 計	47 231 136

貸借対照表

昭和51年3月31日

借方(資産の部)		貸方(資本および負債の部)	
科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)	(523 003 627)	(負債の部)	(235 160 574)
流動資産	456 388 137	流動負債	165 515 567
現 金	689 293	未 払 金	80 500 747
預 金	295 780 726	預 り 金	34 613 914
有 価 証 券	58 000 252	仮 受 金	3 245 990
売 掛 金	32 567 993	前 受 金	47 154 916
未 収 入 金	10 320 100	引 当 金	69 645 007
貸 付 金	4 992 000	減価償却引当金	21 361 234
仮 払 金	60 300	退職給付引当金	45 283 773
立 替 金	3 614 891	名簿発行費引当金	3 000 000
前 払 金	483 527	(資本(純資産)の部)	(287 843 053)
棚 卸 図 書	37 043 482	基 金	46 986 761
仕 掛 品	12 835 573	一 般 基 金	8 039 115
		吉田博士記念基金	28 485 146
		田中博士記念基金	10 462 500
固定資産	66 615 490	元 入 金	66 615 490
建物・諸施設	54 586 072	事務所及設備	27 776 817
什器・備品	12 029 418	元 入 金	38 838 673
		特別会計	27 735 148
		吉田賞会計	6 813 037
		田中賞会計	5 389 818
		60周年事業会計	15 532 293
		剰余金	146 505 654
		繰 越 金	146 505 654
借方合計	523 003 627	貸方合計	523 003 627

監査報告書

昭和51年5月12日

社団法人 土木学会
会長 尾之内由紀夫 殿

監事 小林 二郎
監事 小野 匡美

I 監査概要

1. 監査範囲

当監事は、土木学会定款第15条の規定に基づく事業報告書および決算報告書の監査証明を行うため、土木学会の昭和50年4月から51年3月31日までの昭和50年度事業報告書および決算報告書について監査を行った。

2. 監査手続

この監査に当って、当監事は、事業報告書および決算関係書類(普通会計、出版会計、委託研究、吉田賞会計、田中賞会計、60周年事業会計および貸借対照表、ならびに、それらの附属明細表)を一般に公正妥当と認められる監査基準に準拠し、通常実施すべき監査手続を実施した。

II 監査意見

監査の結果、学会の運営ならびに財務処理は土木学会定款、土木学会規則などに基づき、一般に公正妥当で適当であると認められた。

上記の通り報告いたします。

議案 3 土木学会定款の一部変更

現 行	変 更 案
(会員の種別) 第6条 会員は、つぎの5種とする 1 正会員 つぎの1に該当するもの (1) 土木業務に関し、学識経験ある者 (2) 土木工事専門の教育を受け、その業務に従事している者 (3) 前各号に準ずる者 2 学生会員 土木工学に関する学科を修めるため大学、工業高等専門学校、高等学校およびこれに準ずる学校に在学中の者 3 特別会員 この学会の目的、事業に賛同する個人または団体 4 賛助会員 この学会の運営に著しく貢献し、理事会において推挙された個人または団体 5 名誉会員 土木工学または土木事業に関する功績が特に顕著であつて総会において推挙された者	(会員の種別) 第6条 会員は、つぎの4種とする。 (1) 正会員 つぎの1に該当するもの ア 土木業務に関し、学識経験ある者 イ 土木工学専門の教育を受け、その業務に従事している者 ウ 前各号に準ずる者 (2) 学生会員 土木工学に関する学科を修めるため大学、工業高等専門学校、高等学校およびこれに準ずる学校に在学中の者 (3) 特別会員 この学会の目的、事業に賛同する個人または団体 (4) 削 除 (5) 名誉会員 土木工学または土木事業に関する功績が特に顕著であつて、評議員会において推挙された者
(理事、監事の選任) 第13条 会長、副会長、専務理事その他の理事および監事は、正会員の中から評議員が選任する。	(理事、監事の選任) 第13条 <u>理事および監事は、正会員の中から評議員が規則の定めるところにより、選任する。</u> 2. <u>理事および監事が欠けたときは、補欠を選任する。この場合、その選任については、前項の規定を準用する。</u>
(理事の職務) 第14条 会長は、この学会を代表し、会務を総理する。 2. 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときまたは欠けたるときは、会長があらかじめ指名した順序によってその職務を代行する。 3. 専務理事は、会長および副会長を補佐し、理事会の決定にもとづき日常の会務を処理する。 4. 会長、副会長および専務理事以外の理事は、会長、副会長を補佐し、会務を処理する。 5. 理事は、理事会において第24条に定める事項を審議決する。	(理事の職務) 第14条 <u>理事は、次の各号に掲げるところにより、それぞれの職務を行なう。</u> (1) 会長は、この学会を代表し、会務を総理する。 (2) 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときまたは欠けたるときは、会長があらかじめ指名した順序によってその職務を代行する。 (3) <u>専務理事は、会長および副会長を補佐し、会務全般の円滑な運営をつかさどるとともに、理事会から委任された事項の会務を処理する。</u> (4) <u>前各号以外の理事は、会長、副会長を補佐し、理事会の議決によって会務を処理する。</u> 2. <u>理事は、理事会において第24条に定める事項を審議決する。</u> 3. <u>理事は、監事および第5章に定める評議員を兼ねることができない。</u>
(監事の職務) 第15条 監事は、民法第59条の職務を行なう。	(監事の職務) 第15条 <u>監事は、民法第59条に定める職務を行なう。</u> 2. <u>監事は、理事会および評議員会に出席し、意見を述べることができ、ただし、表決に加わらない。</u> 3. <u>監事は、他の役員および評議員を兼ねることができない。</u>

現 行	変 更 案
(理事および監事の任期) 第16条 理事および監事の任期は、 つぎのとおりとする。 1. 会長である理事 1年 2. 副会長である理事 2年 原則として毎年2名または3名を改選する。 3. 専務理事 4年 4. 会長、副会長、専務理事以外の理事 2年 原則として毎年半数を改選する。 5. 監 事 2年 原則として毎年1名を改選する。 2. 任期の始期は、通常総会の翌日とする。理事および監事は、任期満了後でも後任者が就任するまでは、その職務を行なわなければならない。	(理事および監事の任期) 第16条 理事および監事の任期は、 つぎのとおりとする。ただし、再任することを妨げない。 (1) 会長である理事 1年 (2) 副会長である理事 2年 原則として毎年2名または3名を改選する。 (3) 専務理事 4年 (4) 前各号以外の理事 2年 原則として毎年半数を改選する。 (5) 監 事 2年 原則として毎年1名を改選する。 2. 理事および監事の任期の始期は、通常総会の翌日とする。
(理事会の組織と招集) 第23条 理事会は、理事をもって組織し、議長は会長がこれにあたる。 2. 理事会は、毎月1回会長が招集する。ただし、会長が必要と認めるときは、随時招集する。	(理事会の組織と招集) 第23条 理事会は、理事をもって組織し、議長は会長がこれにあたる。 2. 理事会は、毎年6回以上会長が招集する。ただし、会長が必要と認めるときは、随時招集する。
(理事会の議決事項) 第24条 理事会は、評議員会に提出する議案およびその他会務運営に関する事項を議決する。	(理事会の議決事項) 第24条 理事会は、評議員会に提出する議案のほか、総会および評議員会の権限に属するものを除き、会務執行のために必要な事項を議決する。
(評議員会の議決事項) 第28条 評議員会は、つぎの事項を議決する。 1 基本財産への繰入れ 2 規則の制定および改訂 3 事業計画および収支予算 4 総会提出議案 2. 評議員会において議決された事項は、これを総会に報告する。	(評議員会の議決事項) 第28条 評議員会は、つぎの事項を議決する。 (1) 基本財産への繰入れ (2) 規則の制定および改訂 (3) 事業計画および収支予算 (4) 総会提出議案 (5) 名誉会員の推挙 2. 評議員会において議決された事項は、これを総会に報告する。
(総会の議決事項) 第32条 総会は、つぎの事項を議決する。 1 事業報告および収支決算 2 定款の変更 3 基本財産の処分又は担保の設定 4 名誉会員の推挙 5 解散および残余財産の処分 6 その他会務運営に関する重要なこと	(総会の議決事項) 第32条 総会は、つぎの事項を議決する。 (1) 事業報告および収支決算 (2) 定款の変更 (3) 基本財産の処分又は担保の設定 (4) 削除 (5) 解散および残余財産の処分 (6) その他会務運営に関する重要なこと
	付 則 この変更定款は、文部大臣の認可の日からこれを施行する。

●議案 4 名誉会員の推挙

Ray K. Linsley 君	スタンフォード大学名誉教授
上 戸 斌 司 君	伊藤組土建(株)副社長
上 野 省 二 君	関東セントラル開発(株)社長
末 松 栄 君	清水建設(株)常任顧問

田 中 寛 二 君	九州産業大学教授
瀧 山 養 君	日本国有鉄道理事技師長
藤 村 久四郎 君	ケミカルグラウト(株)副社長
前 田 一 三 君	名古屋港鉄鋼埠頭(株)社長

●報告 評議員会の決議事項

昭和51年度事業計画ならびに予算
51. 4. 1 定例評議員会にて可決
第62回通常総会提出議案、土木学会規則一部変更
51. 5. 19 定例評議員会にて可決

●表 彰

1. 土木学会賞の授与

功績賞：篠原武司 君、柳沢米吉 君
技術賞：中流部多目的堰流量制御システム

建設省中国地方建設局太田川工事事務所 殿
恵那山トンネルの建設 日本道路公団 殿
扇島海上製鉄所建設に関する土木工事 日本鋼管株式会社 殿
鹿島港の建設 運輸省第二港湾建設局 殿

論文賞

(1) 論文賞

Dynamic Behavior of A Submerged Tunnel During Earthquake (東京大学生産技術研究所報告第24巻第5号, 50年3月) 田村重四郎 君
開水路の乱流構造に関する研究(総合題目)
(土木学会論文報告集第231号, 49年11月, 第241号, 50年9月, 第244号, 50年12月) 中川 博次 君
祢津 家久 君

(2) 論文奨励賞

地域住民の反応と路線選定(土木学会論文報告集第239号, 50年7月) 稲村 肇 君
不等流を遡る波の波高変化に関する基礎的研究(土木学会論文報告集第242号, 50年10月) 佐藤 道郎 君
枠組および補剛材で補強された薄板集成構造の耐荷力(総合題目)(土木学会論文報告集第232号, 49年12月, 第234号, 50年2月, 第235号, 50年3月, 第236号, 50年4月) 長谷川彰夫 君
砂のような粒状体のセン断変形に関する基礎的研究(総合題目)(土木学会論文報告集第229号, 49年9月, 第239号, 50年7月) 諸戸 靖史 君
円柱に作用する波圧・波力に及ぼす波の非線型効果に関する研究(総合題目)(土木学会論文報告集第227号, 49年7月, 第229号, 49年9月) 山口 正隆 君

吉 田 賞:

カンチレバー架設したプレストレストコンクリート橋の断面力および挙動の研究(土木学会論文報告集第240号, 50年8月) 百島 祐信 君

田 中 賞:

(1) 論文部門

鉄道用合成桁のずれ止めに関する実験的研究〔日本国有鉄道技術研究所報告第961号(施設編第434号), 50年3月〕

阿部 英彦 君

道路橋の振動とその振動感覚に関する研究(総合題目)(土木学会論文報告集第222号, 49年2月, 第230号, 49年10月)

小堀 為雄 君

梶川 康男 君

(2) 作品部門

かもめ大橋

第二摩耶大橋

東北新幹線第二阿武隈川橋りょう

2. 吉田研究奨励金

(1) 一般公募のもの(要望課題)

水サイ砂を使用したコンクリートの諸性質について

飯坂武男君

大水深における鉄筋コンクリート函塊構造の設計法に関する研究

輪湖建雄君, 大槻有吾君, 広谷彰彦君

(2) 一般公募のもの(自由課題)

コンクリート構造物に生じるひびわれの影響についての研究

秋元泰輔君, 富沢修次君

まだ固まらないコンクリートの粒体特性に関する研究

越川茂雄君

舗装用コンクリートの耐摩耗性の改善に関する試験研究

原 千里君, 野田吉秀君, 森野英俊君

コンクリートの乾燥収縮におよぼす骨材の影響について

藤原忠司君

プレキャスト部材継目部へのモルタル注入に関する実験的研究

本山彰彦君, 岡村寿保君, 河野利明君

気泡モルタル・コンクリートの力学的特性と補強方法に関する研究

森本博昭君

コンクリートの破壊靱性の評価に関する研究

六郷恵哲君

(3) 委員会が必要と認めた調査研究

プレストレストコンクリート不静定構造終局限界状態での二次モーメントの取り扱い方法に関する研究

土木学会コンクリート委員会

セメントペーストと骨材の結合機構に関する基礎研究

岩崎訓明君

国際会議への派遣

ACI 1976 年次会議, CEB (欧州コンクリート委員会) 第

18 回総会, FIP (国際プレストレストコンクリート連盟)

オーストラリアコンクリート協会シンポジウム

●新任理事および監事の紹介

役職名	留任	新任	所 属
理 事 長		最上 武雄君	日本大学教授
理 事 副 長		石上 立夫君	日本国土開発(株)代表取締役社長
〃		菊池 三男君	建設省建設技監
〃		高橋 浩二君	日本国有鉄道常務理事
〃	比田 正君	新日本製鉄(株)参与	
〃		松尾新一郎君	京都大学教授
専務理事	川越 達雄君	(社)土木学会	
理 事		赤井 浩一君	京都大学教授
〃	安藤 道夫君	三井建設(株)副社長	
〃	井島 武士君	九州大学教授	
〃	大浜 文彦君	岐阜大学教授	
〃		片山 英吉君	名古屋土木局道路部長
〃		清山 信二君	鹿島建設(株)取締役土木業務第1部長
〃		古賀 公平君	西日本鉄道(株)電車局工務部長
〃	河野 文弘君	北海道開発局土木試験所長	
〃		佐々木才明君	建設省河川局開発課長
〃		佐藤 敦久君	東北大学教授

役職名	留任	新任	所 属
理 事	田口 栄君		大日本土木(株)副社長
〃	武田 宏君		東京都建設局道路監
〃		菅本 喜一君	神戸大学教授
〃	戸谷 松司君		兵庫県土木部長
〃	中壁 肇君		阪神電気鉄道(株)取締役
〃		藤原 武君	建設省中国地方建設局長
〃	三木五三郎君		東京大学教授
〃		宮崎 昭二君	建設省道路局有料道路課長
〃		村上 省一君	電源開発(株)理事
〃		安岡九寿男君	建設省東北地方建設局企画部長
〃	安山 信雄君		愛媛大学教授
〃		山岡 勲君	北海道大学教授
〃	吉村 恒君		日本国有鉄道環境保全部長
監 事	小野 匡美君		八千代エンジニアリング(株)常務取締役
〃		森川 徳長君	中部電力(株)水力室長

昭和 51 年度事業計画

(昭和51年4月1日～昭和52年3月31日)

土木工学に関する学術・技術の水準を高め、土木界の発展に寄与するため、各種委員会において活発な調査、研究を行うとともに学会誌、論文報告集の内容の充実をはかるほか、各種委員会における研究成果の刊行を行う。

一方、全国大会を東京で実施するほか、研究発表会、講演会、講習会、見学会、映画会等の開催を盛んにし、国内的には関連分野との連繋を強め国際的には学術・技術の交流を密にする。なお、今年日本で行われる第10回国際構造工学会議の開催に協力する。また、各地域に応じた活動を積極的に推進し、あわせて会員の増加をはかる。

事業計画 本年度のおもな事業はつぎのとおりである。

1) 総 会 (51年5月26日(水)東京都)

2) 評議員会: 4月末日まで半数改選

5月定例会議

総会提出議案の審議

3月(52年)定例会議

昭和52年度事業計画および予算決定

3) 理 事 会: 4月末日まで理事および監事半数改選

毎月1回会務決定

4) 支部連絡会議: 不定期1回

5) 各種委員会等: それぞれの委員会において活発な調査研究活動を行う。

(総括関係)

1. 表彰委員会

4. 田中賞選考委員会

2. 論文賞選考委員会

5. 定款調査特別委員会

3. 吉田賞選考委員会

(企画関係)

6. 企画委員会

7. 行事企画委員会

(出版関係)

8. 土木学会誌編集委員会

12. 土木製図委員会

9. 土木学会論文集編集委員会

13. 土木工学叢書委員会

14. わかり易い土木講座編集委員会

10. 文献調査委員会

委員会

11. 出版委員会

(調査関係)

15. コンクリート委員会

17. 構造工学会委員会

16. 水理委員会

18. 鋼構造委員会

19. 海岸工学委員会
20. 耐震工学委員会
21. 原子力土木委員会
22. トンネル工学委員会
23. 衛生工学委員会
24. 岩盤力学委員会
25. 土木計画学研究委員会
26. 海洋開発委員会
27. 電算機利用委員会
28. 土質基礎工学委員会
29. 高校土木教育研究委員会
30. 大学土木教育委員会
31. 視聴覚教育委員会
32. 日本土木史研究委員会
33. 海外活動委員会
34. 安全問題研究委員会
35. 建設コンサルタント委員会
36. 懇談会（各種）
37. 委託研究に必要な委員会

6) 行事

年 月	行 事 名	場 所
51 年 4 月	第 13 回理工学における同位元素研究発表会（共催）	東 京 都
5 月	第 62 回通常総会（主催）	東 京 都
	第 14 回接骨研究発表会（共催）	東 京 都
6 月	“海洋鋼構造物の設計” 講習会（主催）	東 京 都
7 月	第 14 回地盤工学研究発表会（主催）	東 京 都
	第 8 回海洋開発シンポジウム（主催）	東 京 都
	第 12 回水工学に関する夏期研修会（主催）	福 岡 市
8 月	第 10 回高校土木科教職員を対象とする講習会（主催）	岡 山 市
	昭和 51 年度夏期講習会（主催）	東 京 都
	第 9 回土木計画学講習会（主催）	東 京 都
	第 4 回環境問題シンポジウム（主催）	東 京 都
9 月	「トンネル掘進機による実績と展望」講習会（主催）	東 京 都
	第 10 回国際構造工学会議（共催）	東 京 都
	第 20 回材料研究連合講演会（共催）	東 京 都
10 月	昭和 51 年度全国大会（主催）	東 京 都
	第 5 回土木技術者のための海外研修旅行（主催）	未 定
11 月	第 23 回海岸工学講演会（主催）	福 岡 市
	第 8 回トンネル工学に関するシンポジウム（主催）	東 京 都
	第 7 回土木学会映画コンクール入賞作品発表会（主催）	東 京 都
	第 5 回岩の力学国内シンポジウム（共催）	東 京 都
	第 23 回風に関するシンポジウム（共催）	東 京 都
	第 26 回応用力学連合講演会（共催）	東 京 都
	第 7 回安全工学国内シンポジウム（共催）	東 京 都
12 月	電算機利用に関するシンポジウム（主催）	東 京 都
	海外建設工事に関する講習会（主催）	東 京 都
	構造物の耐風性に関する第 4 回シンポジウム（共催）	東 京 都
52 年 1 月	第 13 回衛生工学研究討論会（主催）	東 京 都
	第 11 回土木計画学シンポジウム（主催）	東 京 都
	第 23 回構造工学シンポジウム（共催）	東 京 都
2 月	第 21 回水理講演会（主催）	東 京 都
	第 15 回原子力総合シンポジウム（共催）	東 京 都

注：主催は当会が行う行事、共催は他学協会と行う行事

以上のほか、随時講演会、講習会、シンポジウム、研究発表会、見学会、映画会等を開催する。

また、各支部においても諸行事を定期、不定期に開催する。

7) 51 年度中に予定されているおもな出版物 学会誌、論文報告集、欧文年報等の定期出版物のほかに つぎのような出版を行う予定。「土木学会誌・論文報告集総索引 1915～1975」、土木製図基準（51 年改訂版）、ダムの地質調査解説、トンネル標準示方書解説、シールド工法標準示方書、関門橋工事報告書、開削トンネル設計施工指針、英文耐震規定（1976 年版）、トンネル掘進機による実績と展望、建設工事の進め方（C.E.P. の解説）、海上作業足場の設計要領、鋼構造架設基準案（計画設計

編）、構造物の安全性、信頼性、プレストレストコンクリート示方書等

昭和 51 年度予算

昭和 51 年 4 月 1 日～昭和 52 年 3 月 31 日

1. 普通会計

収 入 の 部		支 出 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
1. 会 費 収 入	179 086 000	1. 会 誌 発 行 費	89 050 000
1. 正 会 員	114 750 000	2. 論文報告集発行費	26 660 000
2. 学 生 会 員	9 720 000	3. 名 簿 発 行 費	5 000 000
3. 特 別 会 員	54 616 000	4. 行 事 費	27 700 000
2. 論文報告集収入	21 059 000	5. 調 査 研 究 費	19 600 000
3. 広 告 収 入	21 184 000	6. 土 木 学 会 賞 費	2 000 000
4. 行 事 収 入	27 480 000	7. 支 部 交 付 金	27 414 000
5. 図 書 館 収 入	3 516 000	8. 図 書 整 備 費	2 500 000
6. 利 子 収 入	15 829 000	9. 一 般 管 理 費	105 062 000
7. 関東支部負担金	2 500 000	1. 事 務 費	90 265 000
8. 雑 収 入	775 000	2. 借 地 料	1 682 000
小 計	271 429 000	3. 会費等徴収費	2 871 000
9. 出版会計より繰入	16 295 000	4. 会 議 費	3 624 000
10. 繰越金取崩繰入	18 762 000	5. 減価償却費	870 000
		6. 退職給与積立金	2 320 000
		7. そ の 他	3 430 000
合 計	306 486 000	10. 予 備 費	1 500 000
		合 計	306 486 000

2. 出版会計

収 入 の 部		支 出 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
1. 刊 行 物 売 上	174 200 000	1. 売 上 原 価	98 977 000
2. 広 告 収 入	7 550 000	1. 期 首 棚 卸 高	55 390 000
3. 印税、監修料収入	4 000 000	2. 当期製造原価	107 317 000
		3. 荷 造 発 送 費	950 000
		4. 期 末 棚 卸 高	464 680 000
		2. 一 般 管 理 費	70 218 000
		1. 事 務 費	59 156 000
		2. 借 地 料	1 102 000
		3. 振替払込手数料	1 479 000
		4. 会 議 費	2 374 000
		5. 減価償却費	570 000
		6. 退職給与積立金	1 520 000
		7. そ の 他	4 017 000
		3. 出 版 委 員 会 費	260 000
		小 計	169 455 000
合 計	185 750 000	4. 普通会計へ繰出	16 295 000
		合 計	185 750 000

3. 委託研究会計

収 入 の 部		支 出 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
1. 受 入 高	62 050 000	1. 研 究 費	54 864 000
		2. 一 般 管 理 費	7 186 000
合 計	62 050 000	合 計	62 050 000

4. 吉田博士記念事業会計

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
1. 東京電力株配当金	3 083 000	1. 賞 金	200 000
2. 貸付信託預金利子	479 000	2. 奨 励 金	2 800 000
3. 銀行預金利子	50 000	3. 賞 牌	20 000
小 計	3 612 000	4. 受 賞 者 旅 費	100 000
4. 前年度より繰越金	6 425 000	5. 委 員 会 費	280 000
		6. 論 文 審 査 費	120 000
		7. 事 務 費	30 000
		8. 雑 費	5 000
		小 計	3 555 000
合 計	10 037 000	9. 次年度へ繰越金	6 482 000
		合 計	10 037 000

5. 田中博士記念事業会計

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
1. 東京電力社債利子	380 000	1. 賞 金	200 000
2. 貸付信託預金利子	691 000	2. 賞 牌	250 000
3. 銀行預金利子	102 000	3. 受 賞 者 旅 費	50 000
小 計	1 173 000	4. 論 文 審 査 費	110 000
4. 前年度より繰越金	5 662 000	5. 委 員 会 費	280 000
		6. 事 務 費	30 000
		7. 出版負担金「橋」	250 000
		小 計	1 170 000
合 計	6 835 000	8. 次年度へ繰越金	5 665 000
		合 計	6 835 000

土木学会誌 6 月号（第 61 巻 7 号）正誤表

新規に広告が 1 ページ追加されたため目次と本文のページが一致しない部分がございます。お詫びして訂正いたします。

訂 正 箇 所	訂 正 部 分（数字はページを示します）
目 次 欄・左 側	書評●コンクリート便覧……………水野 高明・評… 89 を 90 に訂正
” ・ 右 側	土木用語あれこれ◆設計……………井口 昌平………… 85 を 88 に ”
” ・ ”	絵で見る土木◆エネルギーの安定供給……………小林 康彦………… 88 を 89 に ”
” ・ ”	文献抄録◆文献調査委員会…………… 95 を 96 に ”
” ・ ”	ザイルネット構造の冷却塔への応用……………東原 絃道………… 95 を 96 に ”
” ・ ”	地上オイルパイプラインの地震応答……………森光 康夫………… 96 を 97 に ”
” ・ ”	粗斜面上における波のエネルギー逸散……………遠竹 明弘………… 97 を 98 に ”
” ・ ”	車輪とレールの衝突による衝撃音の発生……………菅野 光洋………… 98 を 99 に ”

●新任専務理事，理事，監事の紹介●

ここに登載されていない留任理事，監事に関しましては，学会誌の昨年 7 月号の本欄をごらん下さい。ただし，会長，副会長に関しましては口絵をごらん下さい（五十音順）。

理 事



赤井 浩一



片山 英吉



清山 信二



古賀 公平



佐々木才朗



佐藤 敦久



谷本 喜一



藤原 武



宮崎 昭二



村上 省一



安岡丸寿男



山岡 勲



森川 徳長

監 事